

山梨の土地改良

VOL. 167 2017.4



第1回やまなし農村風景写真コンクール 知事賞 大柴 力様「春らんまん」撮影場所：笛吹市

CONTENTS

ごあいさつ 会長・保坂 武 ——— 1

平成29年度を迎えて 山梨県農政部部長・大熊規義 ——— 2

第59回通常総会及び第58回功労者表彰式 ——— 3

新役員 ——— 5

平成29年度予算(国)が成立 ——— 6

本年度も精力的に要請活動開始！ ——— 7

全国土地改良事業団体連合会第59回通常総会 ——— 8

全国水土里ネット表彰式 ——— 9

平成29年度山梨県農政部人事 ——— 10

ごあいさつ

山梨県土地改良事業団体連合会

会長 保坂 武



皆様方には、平素より本会の業務運営並びに本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご尽力を賜りお礼申し上げます。

先の総会におきまして当会の会長の職をおおせつかりました。

役員、会員の皆様はもとより、関係各位のご支援を得まして会の運営を行って参りますのでどうぞよろしくお願いします。

さて、農業・農村は、安全で安心な食料を供給する場であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村環境の形成などの多面的機能を有しております、国民生活に大変重要な役割を果たしております。

国においては、「食料・農業・農村基本計画」に基づき、農林水産業を成長産業として位置づけ、我が国の農業・農村が社会経済の構造変化等に的確に対応し、その潜在力を最大限に発揮しながら「強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現を推進することとしています。

山梨県においても、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指して、「新・やまなし農業大綱」を策定し、高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開、活気に満ちあふれた農山村を創造するための諸施策を展開しています。

しかしながら、農業農村を取り巻く状況は、高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増大や鳥獣被害の増加、農産物価格の低迷等に対する不安及び施設の老朽化

など、厳しい状況が続いており、農家の意欲減退が懸念されるところです。

このような時こそ、農業農村の将来像をそれぞれの地域で描き、解決策をひとつひとつ丁寧かつ確実に実践していくことが重要であり、このことが地域の活力の向上、強いては地方創生に繋がるものだと確信します。

本会といたしましても、国、県、市町村をはじめとする関係機関及び全国土地改良事業団体連合会（二階俊博 会長）との連携を図り、会員の皆様方のニーズに応えられるよう農業農村の更なる振興と発展に邁進して参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成 29 年度を迎えて

山梨県農政部

部長 大熊 規義



桜の花便りから始まり、甲府盆地の農村では桃や李の花が鮮やかに咲き誇る春爛漫の季節を迎えております。

山梨県土地改良事業団体連合会の皆様方には、日頃から県政推進にあたって深い御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、本年四月より保坂武甲斐市長が会長に就任され新たな体制で貴会を運営していくことになりますが、引き続き農業農村整備事業を始めとした施策の推進に更なる御高配をいただけますようお願い申し上げます。

さて、県では「ダイナミックやまなし総合計画」の農業の部門計画として、昨年度策定した「新・やまなし農業大綱」に基づき、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指し、高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開を図るとともに、活気に満ちあふれた農山村の創造に向けて取り組んでおりますが、本年は「計画加速の年」とし、各種施策をより一層スピーディーに進めて参ります。

この大綱に盛り込まれた取り組みを進めるための礎となる農地・農業用水などの生産基盤を整備する農業農村整備事業につきましては、昨年度の国の経済対策による補正予算と併せ本年度当初予算もしっかりと確保することができましたので、地域のニーズに応えられるよう農業の競争力を高める基盤整備と併せ、農村地域の防災・減災対策を進めるための施設整備などを着実に推進していきます。

農業農村整備事業は新たな変化を迎えております。昨年十一月に国において「農業競争力強化プログラム」が策定されましたが、この中では生産資材価格形成の仕組みの見直し、流通・加工業界構造の確立など十三項目が位置づけられ、その中に土地改良制度の見直しが入りました。この制度見直しには、ほ場整備事業を実施するにあたり、農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者からの申請によらず、都道府県営事業として、農業者の費用負担や同意を求めることなく基盤整備を実施できる制度の創設などが盛り込まれております。この制度改正により、農業農村整備事業は農業の競争力強化に一層重要な役割を果たすことになることから、これらの動きに適確に対応できるよう皆様方と情報共有を図っていきたいと考えております。

農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況ではありますが、「やまなし農業」を元気にし、農業を成長産業に導くため、積極的に取り組んで参りますので、今後とも県政推進へ御理解、御協力を賜りますようあらためてお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と、会員の皆様の一層の御健勝、御活躍を祈念し、新年度の御挨拶とさせていただきます。



保坂武会長職務執行者（副会長）挨拶

第59回通常総会

第59回通常総会並びに第58回土地改良功労者表彰式を3月28日（火）午後2時より自治会館講堂において行いました。

保坂武会長職務執行者（副会長）の挨拶の後、多年にわたり土地改良事業に貢献して頂いた県、市町村、土地改良区職員へ表彰状及び記念品が贈呈されました。また、本会の業務運営に多大なご尽力を頂いた白倉政司前会長をはじめ、3名の前理事へ感謝状を贈呈し、最後に本会の専務理事を退任後、総括

監として長年にわたりご指導頂いた戸澤正彦氏、平成4年より業務遂行にご尽力頂いた事業課課長補佐津久井巧氏に感謝状を贈呈致しました。

表彰式終了後、来賓祝辞として後藤斎山梨県知事、高木晴雄山梨県議会副議長、星川泰輝関東農政局地方参事官より頂きました。併せて二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問及び県選出国会議員の皆様からの祝電を披露しました。



後藤知事祝辞



高木副議長祝辞

その後、龍岡土地改良区斎藤理事長を議長に選任、穂坂・双葉畠かん土地改良区横森理事長、小曲土地改良区飯野理事長を議事録署名人、書記に本会職員2名を任命し議事に入りました。

第1号議案から第9号議案まで可決された後、第10号議案として役員選任に伴う詮衡委員会を開催し理事12名、監事3名が推薦され満場一致で承認され、新役員の互選により、平成29年度より保坂武甲斐市長が本会の会長に就任されました。

提出議案

第1号議案	平成27年度事業報告・収入支算並びに財産目録の承認について
第2号議案	平成28年度事業中間報告について
第3号議案	平成28年度収入支出補正予算について
第4号議案	平成29年度事業計画について
第5号議案	会費の賦課徴収方法並びに受託料算定期準について
第6号議案	平成29年度役員報酬について
第7号議案	平成29年度収入支出予算について
第8号議案	一時借入金の限度額並びに借入方法について
第9号議案	積立金の預入先について
第10号議案	役員の選任について

第58回土地改良功労者表彰並びに感謝状贈呈

■個人の部（順序不同）

鈴木邦彦 大月市役所 産業観光課長
中澤吉子 笛吹川沿岸土地改良区 総務課副主査
笹本朝裕 南アルプス土地改良区 主査
大木一喜 横無堰土地改良区 常任理事（故人）

■感謝状贈呈者（土地連役員関係）

白倉政司 前会長（前北杜市長）
倉嶋清次 前理事（前笛吹市長）
望月仁司 前理事（前身延町長）

■感謝状贈呈者（山梨県農政部関係）

田中道彦 中北農務事務所 所長
輿水秀之 峡南農務事務所 次長

■感謝状贈呈者（土地連関係）

戸澤正彦 土地改良連合会 総括監（元専務理事）
津久井巧 土地改良連合会 課長補佐



望月元理事 感謝状贈呈



大月市役所 鈴木課長 表彰

新役員

平成29年4月1日～平成31年3月31日（任期2年）



会長
(甲斐市市長)
坂 保 武【再任】



副会長
(甲州市市長)
辺 田 一【再任】



副会長
(韮崎市市長)
藤 内 藤 久 夫【再任】



専務理事
(学識経験者)
藤 加 藤 啓【再任】



理事
(中央市市長)
中 田 久 雄【再任】



理事
笛吹川沿岸土地改良区理事長
(山梨市市長)
月 望 清 賢【再任】



理事
(都留市市長)
内 堀 富 久【再任】



理事
(北杜市市長)
英 子 渡 辺【新任】



理事
(笛吹市市長)
樹 政 下 山【新任】



理事
(南部町町長)
広 和 佐 野【新任】



理事
(富士川町町長)
学 志 村【新任】



理事
(小菅村村長)
美 直 木 舟【新任】



総括監事
(徳島堰土地改良区理事長)
資 正 野 田【再任】



監事
(上野原土地改良区理事長)
彦 明 奈 良【再任】



監事
(楯無堰土地改良区理事長)
城 正 今 村【再任】

平成29年度予算(国)が成立、本県への配分も増額へ

国予算額 (国費ベース)

(億円)

	28 年度			29 年度	
	概算 決定額①	補正額 ②	計 ③ = ① + ②	概算 決定額④	対前年比 ④ / ①
農業農村整備事業	2,962	1,580	4,542	3,084	
農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）	735		735	701	
農地耕作条件改善事業	123	172	295	236	
計	3,820	1,752	5,572	4,020	105.2%
県単独公共事業					
合計	3,820	1,752	5,572	4,020	105.2%

※ (国) ②+④ = 5,772 億円 → 21年度予算額まで復活

平成 29 年度国予算額が決定。平成 21 年度水準まで復活しました。

本会においても全土連二階会長（自民党幹事長）をはじめ、自民党本部、公明党本部、財務大臣、農水大臣、県選出国会議員等へ要請活動を行ってきました。

その結果、山梨県への農業農村整備事業予算の配分も平成 28 年度に対し平成 29 年度は約 6 億円（9% 増）の増額と聞いております。今後も更なる農業農村整備事業の推進へ向けて要請活動等を行って参りますので皆様のご協力をおろしくお願い致します。

平成29年度 全国土地改良大会は静岡県で開催

会員皆様の多数の出席をお願いします

第40回 全国土地 改良大会

平成29年10月25日(水)

会 場：ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ | 沼津市

主 催：全国土地改良事業団体連合会 静岡県土地改良事業団体連合会

「ふじのくに」で語ろう
土地改良が創る豊かな水上里を。

Bullet train (Shinkansen)
Train
Airport

大会式典等
日時：平成29年10月25日 (水)
場所：ふじのくに千本松フォーラム
Plaza Verde (静岡県沼津市)

事業視察
日時：平成29年10月26日 (木) ~27日 (金)
場所：静岡県内各地
主催：全国土地改良事業団体連合会
静岡県土地改良事業団体連合会

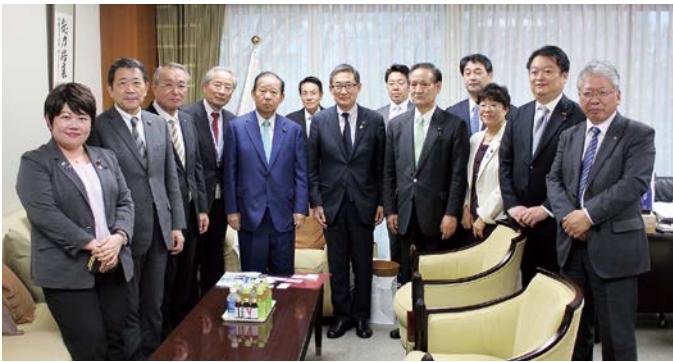
本年度も精力的に要請活動開始！



後藤 斎 山梨県知事



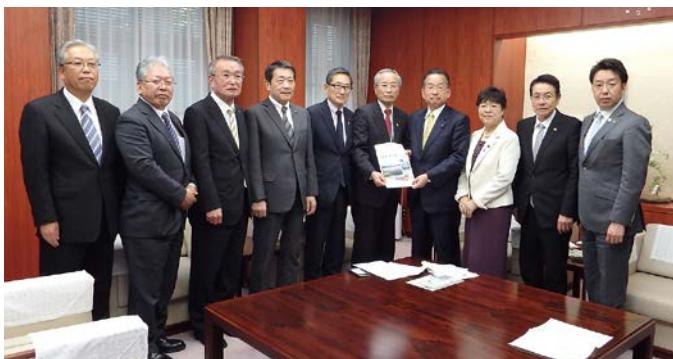
宮川典子 衆議院議員



二階自民党幹事長
宮川衆議院議員
進藤参議院議員



中谷真一 衆議院議員



山本有二 農林水産大臣



長崎幸太郎 衆議院議員



進藤金日子 参議院議員



赤池誠章 参議院議員

全国土地改良事業団体連合会

第59回通常総会

全国土地改良事業団体連合会第59回通常総会が去る3月24日東京都平河町都巿センターホテルにおいて、各都道府県の水土里ネット会員出席のもと開催されました。

高貝全土連副会長は冒頭の挨拶の中で、本年度の要請活動等に対する感謝の意を述べると併に、今後も引き続き予算増額を目指し、関係者が更に団結するよう訴えました。その後、全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問進藤金日子参議院議員が来賓挨拶として、当初予算の重要性と参議院での議席獲得について述べられました。

議長に香川県土連大山会長を選出し、平成27年度収入支出決算、平成28年度収入支出補正予算、平成29年度事業計画及び収入支出予算等、全13議案が諮られました。第12号議案では理事の補欠選任が行われ、平成29年度より副会長に石川県土連西村会長、理事に長野県土連藤原会長、専務理事に小林祐一氏が就任することになりました。議事終了後、決議文が全会一致で承認されました。



高貝副会長挨拶

全国水土里ネット表彰式

通常総会終了後、東京都シェーンバッハ・サボーにおいて「第58回全国土地改良功労者表彰」「農業農村整備優良地区コンクール表彰」「21世紀土地改良区創造運動表彰」が行われ、本県からも4名が受賞されました。

表彰式には農林水産省から、山本農林水産大臣、佐藤農村振興局長、室本同局次長ら幹部また、全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問進藤金日子参議院議員が出席されました。

全国水土里ネット二階会長は挨拶の中で表彰者の功労、栄誉を称え、今後とも土地改良事業の推進と地域の振興にご尽力賜りたいと賛辞を述べられました。山本農水大臣及び都道府県土地連会長会議進藤顧問より来賓挨拶を頂きました。進藤顧問は農業農村整備事業の効果をしっかり算定し、今後も予算確保に尽力すると訴えました。



二階会長挨拶



山本農林水産大臣祝辞



進藤顧問祝辞



左から 山本理事長、菊島局長、加藤所長、名取課長

山梨県関係の団体、個人の受賞者は次の方々です。

第58回全国土地改良功労者表彰

■団体の部

銀章表彰

笛吹川沿岸土地改良区（理事長 山本勲夫）

■個人の部

笛吹川沿岸土地改良区 事務局長 菊島好彦
釜無川右岸土地改良区連合

管理センター所長 加藤敏郎
釜無川右岸土地改良区連合 管理課長 名取忠

■平成29年度人事

山梨県農政部人事

平成29年4月1日付、県職員人事異動が発令されました。
農政部及び、各農務事務所の幹部職員は次のとおりです。

農政部

部長	大熊 規義
理事	相川 勝六
次長	奥秋 浩幸
技監	渡邊 祥司
技監	土屋 重文
副参事	福嶋 一郎
企画調整主幹	上野 公紀
部付主幹	滝田 聰
部付主幹	塙入 栄
部付主幹	山田 英樹
部付主幹	渡邊 聰尚
部付主幹(農業振興公社)	千野 浩二

農政総務課

課長	山岸 正宜
総括課長補佐	渡邊 喜彦
農政企画監	斎藤 修
指導検査監	岩下 功子
課長補佐	岩渕 基
課長補佐	柴崎 一彦
課長補佐	依田 瞳美
課長補佐	斎藤 弘道

農村振興課

課長	八巻 武正
課長補佐	北村 徹
課長補佐	田辺 善雄
課長補佐	横小路 稔
課長補佐	高瀬 建
課長補佐	小野 健一

耕地課

課長	清水 一也
総括課長補佐	小野 訓正
技術指導監	茂手木 知
課長補佐	浅川 一輝
課長補佐	原田 武
課長補佐	丸山 誠

中北農務事務所

所長	荻原 修
次長(事)	加賀美達也

次長(技)
担い手対策幹
農村整備振興幹
工事施工管理幹

鈴木 信男
馬場 信吾
望月 修
小倉 隆宏

峡東農務事務所

所長	依田 健人
次長(事)	渡辺 久
次長(技)	岩間 浩
担い手対策幹	須田 寿一
農村整備振興幹	渡辺 茂
工事施工管理幹	小澤 正男

峡南農務事務所

所長	武井 和仁
次長(事)	藁科 幸一
次長(農村整備振興幹事務取扱)	寺島 伸司
担い手対策幹	向山 一弘
工事施工管理幹	向山 直樹

富士・東部農務事務所

所長	山根 正人
次長(事)	刑部 永保
次長(技)	塙崎 欽哉
農村整備振興幹	古屋 泉
工事施工管理幹	藤巻 慎司

退職者

平成28年度をもちまして退職された方々です。

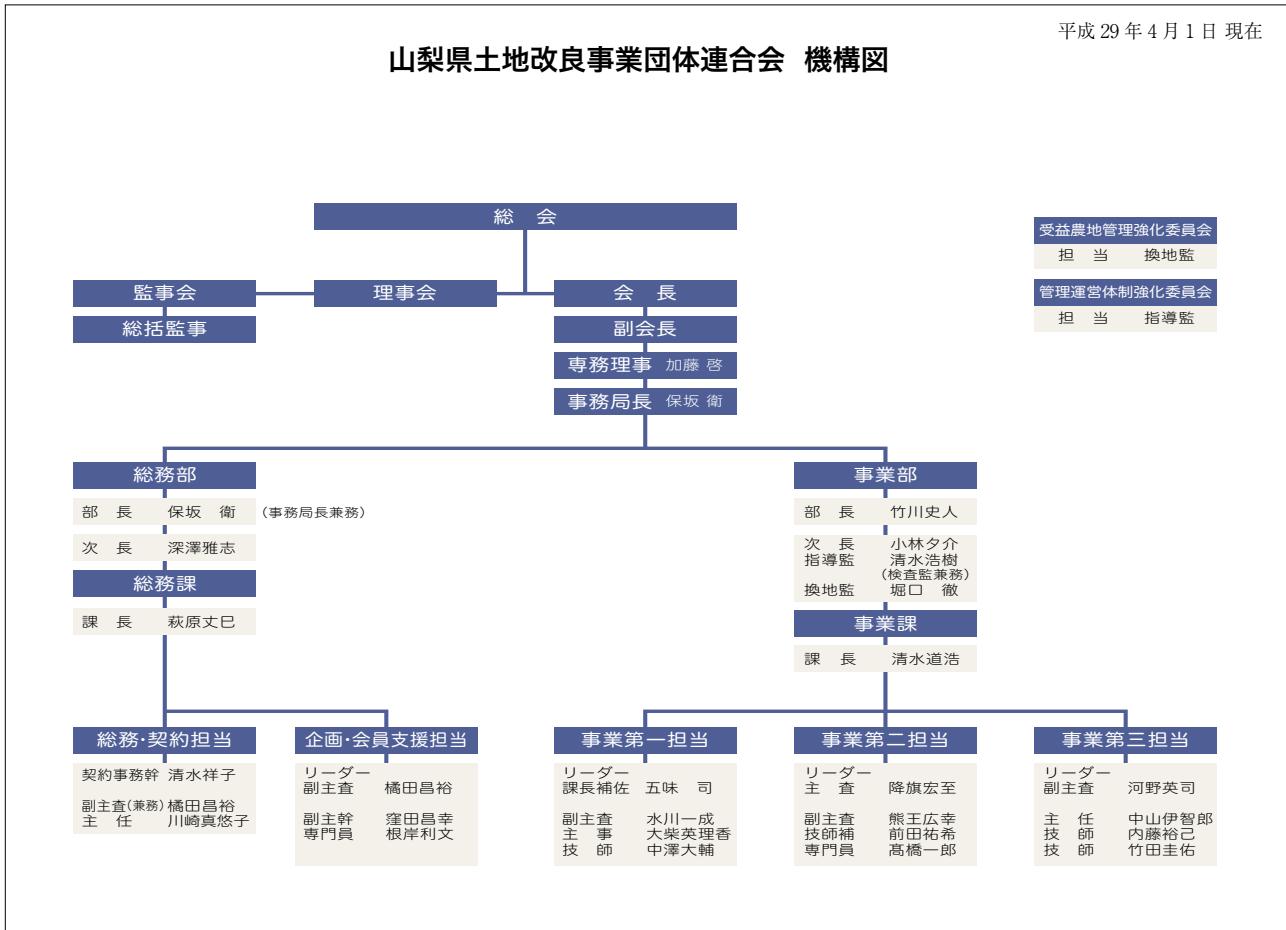
《農務部関係》

中北農務事務所 所長	田中 道彦
峡南農務事務所 次長	輿水 秀之

《本会関係》

総括監	戸澤 正彦
課長補佐	津久井 巧

山梨県土地改良事業団体連合会 機構図



みどり 水土里ネットとは



- …… 農業用水、市域用水などの意味
- …… 土地、農地、土壤などの意味
- …… 農村空間、農家や地域住民が一体となった空間などの意味
- ・ 豊かな自然環境や美しい景観を意味し、おいしい水、きれいな空気などを清廉なイメージを表現

〈水土里ネット〉については以下のような意味合いを包含しており、将来に向けた役割と姿を表現

■ 地球 10 周分の水路ネットワーク

全国の40万Kmに及ぶ水路等のネットワークによって農村の健全な水環境を形成し、農地を潤すことにより、安全で安心な「食」と「農」の基盤づくりを担うとともに、これらが国民共有の財産である美しい農村の基盤ともなっている役割を地域及び国民にアピール

■農家、地域住民等のネットワーク

人、物、情報のつながりにより、農家ののみならず地域住民や都市住民と連携（ネットワーク）して、「水」「土」「里」を創造し、都市と農村の共生・対流を促進

■資源循環のネットワーク

農村で発生する有機性資源（集落排水汚泥等）の産地への還元など、廃棄物のリサイクルによる資源循環を通じ、環境型社会の構築への取り組みを促進

農業農村 整備事業は

- 調査設計・測量
- 換地確定測量
- 農業集落排水事業
- 水土里情報システム



山梨県土地改良事業団体連合会へ



山梨の土地改良 VOL. 167

発行：平成 29 年 4 月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174
URL：<http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail：svomu@yamanashi-doren.or.jp

